

まいばら

ひととまちをつなぐ! 市政情報誌

2006. 9/1



9月1日、米原市自治基本条例、米原市環境基本条例、米原市公害防止条例が施行!

よってみやんせ、やいとどの里へ

7月22日と23日に行われた中山道柏原宿やいと祭。「やいと」とはお灸のことで、昔は街道を行き交う旅人の必需品であり、土産物としても喜ばれました。柏原宿には、多い時で10軒を超えるもぐさ屋が軒を並べたといいますが、柏原に往時の宿場のにぎわいを、という地域住民の熱い思いから始まった手づくりの祭は、今年で11回目を迎え、宿場町はゆかた姿の人や多くの家族連れでにぎわいました。



キラリ☆米原人 岡田 敏子さん

音楽でつながる人の輪・心の和... 2

特集

母の郷でたずねる

『功名が辻』ゆかりの地... 4

9月は同和問題強調啓発月間です... 8

いっしょに住みよいまちづくり NPOのひろば②
特定非営利法人「ひだまり」... 16



人のうごき

人口42,154人 (+22) 男20,706人 (+8) 女21,448人 (+14) 世帯数13,204世帯 (+36)

65歳以上の人口 9,777人 高齢化率 23.19% ※()内は前月との比較【平成18年8月1日現在】

米原市公式サイト

<http://www.city.maibara.shiga.jp>

音楽でつながる人の輪・心の和

ジュニア音楽団『ほたるつち』の「お母さん」

岡田 敏子さん（村居田）

まだまだ残暑厳しい9月ですが、田んぼの稲にも穂が付いて、青い空にはとんぼが舞う姿も見られます。

文化の秋、今月は米原市をはじめ湖北地域を中心に音楽を通じたまちづくりに活躍されている岡田敏子さんにお話を伺いました。

子どもの頃の体験と感動 「音楽ってすばらしい」

はじめて触れた楽器はピアノです。小学校3年生のときに、習い事として。ピアノも大好きでしたが、音楽って楽しいなあ、歌うのってすばらしいと心を躍らせたのは、小学校での合唱コンクールでした。一人ひとりの歌声が重なり合って、ひとつのハーモニーができればがる感動

。進路を決める年頃になると、私は迷わず、音楽の世界へと飛び込みました。合唱コンクールでのあの感動が、私を音楽の道へと導いてくれた

といつても言い過ぎではありません。今、自分自身を振り返ってみて、子どもの頃の体験や感動は、その後の人生に大きな影響を与えるものだと、強く感じています。

そして今も歌い続けていられるのは、歌うことが好きだった母、どんな時にも歌いたいという気持ちを尊重してくれた夫、一緒に口ずさんでくれた3人の子どもや地域のみなさんの応援のおかげだと感謝しています。

音楽でつながった地域の輪

子どもが保育園に通っていた頃、ステージで保護者が発表する機会が

あり、合唱をしました。その後、子どもたちが卒園しても、お母さんたちの合唱団をつくろうということのできたのが「大原ハーモニーたんぼ」です。

園児の母親だったメンバーももう孫を見る年になりましたが、今でもやっぱり歌い続けています。

歌がなければ、こんな地域のお付き合いもなかったかもしれません。

同じ世代の母親同士、若い頃は子育ての悩みを相談し合い、最近では介護の苦労をねぎらい合いながら、一緒に年を重ねてくることができました。そんな仲間が同じ地域でそれぞれにがんばっていることは、何より

の励みとなり、声を出して歌うことは気持ちを晴れ晴れとさせてくれました。音楽は人と人、そして地域をつなぐ素晴らしい方法のひとつだと思います。

そして、それを実感できるもう一つのできごとが、ジュニア音楽団『ほたるつち』の誕生ではなかったかと思っています。

子どもたちに 音楽と触れ合うきっかけを

今から3年ほど前、「子どもたちが音楽に触れ合う機会をつくってあげたい。」そんな声が、保育園児のお母さんたちから寄せられました。





私たちは一人ひとり顔が違うように、得意なこと、苦手なこともさまざまです。かけっこの速い子、水泳が得意な子、絵がじょうずな子・・・と、いろんな子がいますが、どんなことも経験しないと得意なのが苦手なのかさえ知らないままです。

あらゆる分野での経験ができるチャンス子どもたちにと、私は音楽の分野で子どもたちとの関わりが持てたらと思いました。

それに、これまで私自身が苦しいとき、悲しいとき、どれほど音楽に励まされ、慰められてきたか・・・音楽のすばらしさ、その魅力を自分の中でだけ留めておいてはいけない、もっと多くの人に伝えたいという思いも強かった私は、若いお母さんたちの声に「私でお役に立てるところがあれば」とワクワクした気持ちでお返事しました。

子どもたちといっしょに 大人も成長

私たちは、ジュニア音楽団の設立に向かって熱くなりました。

音楽団には『ほたるつち』という親しみやすく、かわいらしい名前がつけました。ホテルの美しいまちであること、いつものお稽古場所がルツチプラザであることがその由来です。地元ですばらしいホール、発表の場があることも幸運でした。ほたるつちには当初、小学校1年生から6年生までおよそ30人の子どもが集まりました。「音楽と触れ合う」という当初の目的以外にも、大きな成果がたくさんあったのには驚きました。

少子化は今や、国をあげての大きな問題になっていますが、きょうだいの少ない子どもたちが異年齢の子どもと関わりを持つようになり、高学年の子どもが低学年の子どもの面倒をみる姿がありました。

また、ほたるつちでは、ふるさとへの思いが託された歌を歌う機会に恵まれました。子どもたちは自分たちのふるさとをよさを知り、同時に郷土愛が育まれました。

さらに、成長したり、教わったりするのは子どもたちだけではありませんでした。子どもの発想力のすばらしいこと、素直な目線でものごとを観察する目・・・。私たち大人の方が、いっしょに忘れていた大切なことを子どもたちから教えてもらっていることに気付いたので。

音楽とまちづくりのつらき

音楽にしろ、絵画にしろ、表現することや芸術活動のすこいところは、国のちがいが、地域のちがいが、年齢の差などの境がないことだと思っています。

ほたるつちの歌声はお芝居やオーケストラとも交じり合い、同じ舞台で共演させていただくこともあります。

「共感する」ということで、広がるつながりや絆を感じたとき、それは大きな喜びであり、幸せです。米原市は4つのまちが合併して誕生したまちですが、先日、近江地域の老人クラブさんから、行事の開催にあたってほたるつちに出演依頼をいただきました。ほたるつちの活動や音楽があつてこそその新しいつながりがまた広がります。そして広い世代で同じ歌を歌い、共感できることが楽しみです。

一つひとつは小さな行動で、一人ひとり小さな存在ですが、少しずつでもつながりが広がり、絆が深まっていけば、音楽は大きく市民の交流を促し、新しい米原市のまちづくりに貢献できるものとなるのではないかと思っています。

そして、これからも米原市の魅力を音楽という表現方法で、存分に発信していきたいと思っています。

米原市芸術展覧会

作詞作曲部門

ただいま出展作品を募集しています。くわしくは18ページをご覧ください。

問 文化スポーツ振興課

☎ 5518106

特集

『功名が辻』母の郷でたずねる 『功名が辻』ゆかりの地

夫の死後、出家して法秀尼と名乗った一豊の母は、米原市宇賀野の長野家に身を寄せました。

長野家で法秀尼は近くの娘たちに裁縫や行儀作法などを教えていたといわれています。その中にいたのが飯村の土豪・若宮喜助友興の娘・千代で、後の一豊夫人でした。若宮家は近江浅井氏に仕え、友興は信長との合戦で討ち死にし、千代は幼くして父を失います。

同じような境遇の一豊と千代・・・。

流浪の身から信長・秀吉・家康という3人の天下人に仕え、土佐（高知県）一国の城主にまで出世した一豊。その出世の陰に妻・千代の内助の功があったことは有名です。

互いに支え合い、寄り添い合って乱世を生き抜いた二人と、二人を支えた人物が、私たちのまち米原市に縁深いことは後世を生きる私たちの誇りです。NHK大河ドラマ『功名が辻』もいよいよクライマックスへ。

この秋、市内の『功名が辻』ゆかりの地を訪ね、一豊と千代が生きた時代へタイムスリップしてみませんか。

米原にこの人あり～『功名が辻』ゆかりの人物～

山内一豊（やまうち かずとよ）

戦国時代を果敢に生き抜いた戦国武将「山内一豊」。尾張で生まれた一豊は、少年期を母とともに宇賀野で過ごした後、戦国の動乱期を織田信長・豊臣秀吉・徳川家康に仕え、やがて土佐20万石の初代藩主になりました。この山内一豊を支えたのは、妻「千代」と母「法秀尼」の二人の女性でした。



千代（ちよ）

一豊の妻千代は、飯村の生まれ。後世「内助の功」と称えられた美談の功名は有名です。信長の馬揃いに「夫の生涯の一大事」と、へそくりの黄金10両を差し出した千代。

その金で名馬を手に入れた一豊は、信長の目にとまり、以来、立身出世の道を歩んだということです。



法秀院（ほうしゅういん）

一豊の母・法秀院は、夫・盛豊が戦死したのち出家し法秀尼と称しました。宇賀野の長野家に身を寄せ、同家の屋敷の片隅でひたすら息子の武運を念じ、慎み深く質素な生活を送りながら、近在の子女に裁縫や行儀作法を教えていました。この習い子のなかに、後に一豊の妻となった千代がいたといわれています。



田中孫作（たなか まごさく）

一豊の家臣で高溝の出身。千代の命をうけ、石田三成挙兵の第一報を早飛脚にて一豊と家康に伝え、関ヶ原の戦いでは、小早川秀秋の寝返りを説くなど、その所業が、後に家康を天下人に導いたともいわれています。

千代の密書を、笠の緒に縫り込み、商人に扮して、途中、追剥ぎからの難を逃れ、600キロも離れた下野の一豊の陣に届けたという人物です。





ゆかりの地あれこれ

**道の駅「近江母の郷」
近江母の郷文化センター
(宇賀野)**



企画展「一豊を支えた妻 千代」を開催中。市内『功名が辻』ゆかりの地や、一豊出世にまつわる逸話等をパネルにより紹介。関連グッズ等も販売中。
12月28日(木)まで
火曜休館
入場無料

山内一豊公母の墓(宇賀野)

長野家に身を寄せた一豊の母は、地域の人々の温情に守られ、愛した宇賀野の地でこの世を去った。



法秀院の遺徳をしのび、母の鏡としていつまでも顕彰していきたいですね

山内一豊の母「法秀院」顕彰会会長
喜田 弘さん(宇賀野)

長野家(宇賀野)



尾州黒田城の家老であった父・盛豊の亡き後、一豊と母、弟妹は流浪の末、縁をたよって宇賀野の長野家に身を寄せた。一豊は少年期から青年期を宇賀野で過ごした。

八幡神社(飯)

千代の出自、若宮氏により創建された神社で、武運の長久を祈願し、同家の守護神として崇敬されてきた。



『山内一豊公と千代夫人』の像

JR坂田駅前にある夫婦の像は、市民の皆さんにより建立されました。

**若宮氏顕彰碑
/ 若宮氏館跡(飯)**

千代の生誕地、飯村には若宮氏の館跡があり、顕彰碑が残る。



ガイドを通して、沢山のひと出会い、千代さんの話に花を咲かせるのが何より楽しみです

千代のふる里「いむら」を創る会
会長 日比 清春さん(飯)

田中孫作屋敷跡(高溝)

孫作の墓は京都妙心寺の一豊・千代の御霊屋の脇にある。没後もなお忠臣として付き従っている様には心が打たれる。高溝には、今も屋敷跡が残る。



主な参考文献

一豊と千代そして法秀院(米原市大河ドラマ『功名が辻』実行委員会歴史文化部会編集)
山内一豊・千代の忠臣 田中孫作の里 高溝(米原市高溝孫作会編集)
第1回近江町「山内一豊&千代」地域史セミナー資料 法秀院と見性院 一豊を支えた母と妻「千代」(近江町編集・発行)

元気です ふる里の歴史を活かしたまちづくり



千代さんは憧れの女性

時代まつり行列で、千代様役“を務める北村知香さん（宇賀野）

大河ドラマ『功名が辻』の大ファンです。千代さんが着ていた小袖がとても可愛くて、私も一度着てみたかったです。

宇賀野では、毎年8月13日に子どもたちが法秀院さんのお墓に集まり、花火をしたりしながら「おしよらいさん」をお迎えます。それは小さい頃からお盆の楽しみで、法秀院さんはもちろん、一豊さんや千代さんのお話も、その頃に教わりました。

夫とともに支え合い、乱世を生きた千代さん。憧れの千代さんの役になれるのがとてもうれしいです。



かつて経験したことのない 全国版観光の舞台づくりに奔走

米原市大河ドラマ『功名が辻』実行委員会 会長

（旧近江町観光協会 会長）北居寛さん（顔戸）

大河ドラマの放映が決まった、と喜んだのもつかの間。テレビの反響でゆかりの地には全国から観光客が訪れると聞き、はじめは戸惑いました。

観光客を迎えるといっても周囲には駐車場もトイレも案内板もない状況でしたが、皆様のご寄付で坂田駅前に一豊と千代の像ができ、集落や商工会、市の協力で看板なども整備されました。

さらに、交通整理や観光ガイドをかつての人々が次々と現れるなど、市民パワーの力強さを感じています。ドラマは終盤を迎えますが、このパワーを継続して、今後のまちづくりにつなげていきたいですね。



郷土出身の『田中孫作』を顕彰し、まちづくりに活かしたい

高溝孫作会 会長 松居信夫さん（高溝）

孫作さんが、高溝の出身だと教えられたのは私が中学生の頃。忠臣として責任を果たした孫作さんの人柄をしのび、郷土の誇りだと思っています。孫作さんのこうした精神は今の時代に強く求められているものではないでしょうか。

ドラマの放映が始まって以来、千代さん一豊さんとともに、この孫作さんの足跡を追って高溝まで足を延ばしてくださるお客様が大勢いらっしゃいます。

オリジナルの『孫作せんべい』や『ガイドブック』の制作など、知恵を絞ったもてなしと交流が、郷土を見つめ直すきっかけになればとがんばっています。



『功名が辻』と米原市 史実をひも解き整理した2冊の本

『功名が辻』に関連した2冊の本をまとめた粕刈宏昭さん（高溝）

京都・掛川・高知を歩いて、文献や資料を集めました。今作らなければ、残せない。そんな思いでまとめました。特に田中孫作については、これまでに記された書物なども少なく、苦労しました。資料を整理する中で、一豊、千代、そして孫作の心を繋いでいたのは共通する郷土愛だったのではとあらためて感じました。多くの人に読んでいただき、歴史探訪してほしいですね。また、この本をきっかけに新たな発見や情報が寄せられることを期待しています。

『一豊と千代そして法秀院』/800円
『山内一豊・千代の忠臣 田中孫作の里高溝』/600円
いずれも限定500部
（米原市商工観光課・長浜城歴史博物館で販売）

NHK大河ドラマ『功名が辻』の放映を機に、先人に対する誇りと郷土を愛する気持ちを市民みんなで高めたいと、9月16日(土)から3日間、『米原発 一豊・千代・孫作ゆかりの地 時代まつり』が開催されます。

米原発
 一豊・千代・孫作ゆかりの地
 時代まつり

2006
 9/16(土)
 17(日)
 18(祝)

◆米原発! 一豊・千代・孫作ゆかりの地
 時代まつり行列【17日】※小雨決行
 【高溝孫作コース(午前)】【法秀院コース(午後)】

◆和太鼓衆『悟空』秋乱れ打ち公演【17日】

◆粕淵辰次氏収集考古品展示【16~18日】

◆増田清風氏『功名が辻 切り絵展』【16~18日】

◆手作りミニ甲冑展【16~18日】

◆NHK大河ドラマ ロケ風景写真展【16~18日】

◆歴史講演会『粕淵宏昭氏』【17日】

◆熱気球搭乗体験【17日】※雨天順延(9/18(祝))

◆一豊・千代様による空からのプレゼント【17日】

◆米原市伝統文化の祭典【17日】

◆孫作ウォーキング～兼照寺庭園～【17日】

◆近江地場産品等の販売【17日】

◆手づくり顔めき看板による記念写真撮影【16~18日】

◆お楽しみ抽選会【17日】

◆模擬店(たこ焼き・焼きそば・かき氷等)【17日】

※内容は変更になる場合がありますので、ご了承ください。



in 米原市近江公民館

主催：米原市近江公民館・米原市大河ドラマ「功名が辻」実行委員会・文化振興クラブ・近江商工会・高溝田中孫作会
 後援：米原市観光協会
 お問い合わせ/米原市近江公民館 TEL/0749-52-3483 FAX/0749-52-3895

巡回バス運行中。1日乗り放題!

博覧会期間中(11月30日まで)の土・日・祝日に湖北『功名が辻』ゆかりの地を結ぶ博覧会巡回バスを運行しています。博覧会へお越しのときだけでなく、買い物や小旅行、日常の交通手段としてもご利用ください。

乗車料金 200円(1日乗り放題)

博覧会3会場セット券を購入された場合は100円

特典つき 施設の入場料割引や食事代割引などのお得な特典がいっぱいです。



北近江・
一豊千代
博覧会

北回り

J R 長浜駅
 曳山博物館・大通寺
 長浜八幡宮・舎那院
 総持寺
 神照寺

国友鉄砲の里資料館
 五村別院
 一豊初所領の地・唐国
 J R 虎姫駅
 虎姫時遊館

南回り

J R 長浜駅
 長浜城歴史博物館
 長浜港

近江母の郷文化センター
 山内一豊の母・法秀院の墓
 J R 坂田駅

北近江一豊・千代博覧会事務局(曳山博物館内)
 ☎65-3300

みんなでも考えませんか？

暮らしと人権・同和問題



Vol.13

9月は「同和問題

強調啓発月間」です

同和問題の認識

同和問題の現状：

平成14年3月、特別措置法（）が終了し、同和対策は一般対策へと移行されました。これは、同和問題の早期解決をめざす取り組みの放棄を意味するものではなく、また、同和問題が解決したわけでもありません。未だに根強く残っている同和問題の解決には、同和問題は基本的人権の侵害であることを改めて認識し、自分自身の課題としてとらえ、一人ひとりの意識の高揚と行動につなげていくことが大切です。

特別措置法は、同和地区の劣悪な生活環境と経済的低位性を、早急に改善することを目的とした期限付きの法律。この法に基づき、差別と貧困の悪循環を断ち切り、同和問題の解決・部落差別の解消を図るための施策事業が実施されてきた。

この考え方は生まれたところや住んでいるところによって差別を受けるといふ、あつてはならない人権問題を容認しているのと同じです。

また、すでに同和地区から引越をした人やその家族が、不当な身元調査などにより差別を受けたということも少なくありません。

同和問題は、住む場所を移ることによって解決するものではありません。どこに住んでいても、誰もが安心して暮らせる社会をつくる必要があるのであり、同和地区に対する差別意識や偏見をなくすことが求められているのです。

結婚問題について

『結婚しようとする2人のうち、どちらかが同和地区の出身だということ、周囲の人が結婚に反対し、2人の思いが遂げられない』ということが今もあります。また、身元調査によって出生地が調べられるなどして、結婚に反対される場合もあります。出身地について偏見をもつことや、差別につながる身元調査はあつてはならないことです。

「婚姻は両性の合意のみに基づいて成立する（憲法24条）」ものです。本人同士の意味が尊重されるために、結婚するふたりにとって大切なことは何なのか、偏見により誤った考え方をしている人が正しく理解で

きるよう、みんなでも話し合うことが大切です。

差別意識の解消に向けて

身元調査を許さない

昨年、行政書士が興信所の依頼を受け戸籍謄本等を不正取得していたことが発覚し、その後の調査で当該行政書士等による戸籍の取得が全国的に行われていたことが明らかになりました。県内でも、不動産の売買や企業の採用選考において、行政に同和地区の所在を問い合わせるといふ事件が発生しています。

昭和50年の部落地名総鑑事件（）の発覚から30年間にわたり、行政、企業等を中心に部落差別につながる身元調査をなくそうと取り組まれてきたにも関わらず、依然として身元調査が行われています。

本人の努力や能力とは関係なく、生まれたところや住んでいるところで人を判断することはあつてはならないことです。身元調査を許さない取り組みを今後も粘り強く進めていかなければなりません。同時にその背景には、そのような調査を行わせる社会意識があることを知り、過去の問題ではなく現在の課題として、一人ひとりが差別をなくすための毅然とした対応をすることが必要です。

住む場所を移ることで差別が解決されるわけではありません

『部落差別を受けるのは特定の地域に住んでいるからで、その地域から引越してしまえばわからなくなる』という考え方があります。

そつとしておいても

差別はなくなりません

『同和問題を取り上げるとは、部落差別を知らない人に同和問題を認識させるとともに、差別を意識させてしまうことにつながるからこの問題には触れない方がいい』という考え方があります。

この考え方は、差別を容認することとなり、差別を受けている人たちに我慢を強いることにもなります。今なお差別があるのは、長い間、誤った知識や偏見が伝えられてきたからだといえます。

全国の部落の地名・所在地・戸数・主な職業などが記載された差別図書が存在が明らかになりました。この購入者の大半は企業であり、購入動機は採用にあたって同和地区出身者を調べるためでした。この事件の反省を機に、企業での同和問題の啓発や研修が広く行われるようになります。

差別落書き・

差別投書を許さない

JRの駅や量販店等のトイレなどでの同和問題にかかわる悪質な差別落書きや、個人や団体に宛てた差別投書が、現在でも発生しています。その多くは、蔑称を使い、同和地区や同和地区の住民を排除や攻撃の対象にしたものです。落書きや投書等は、文字として残るため、多くの人が目にするにより差別が助長されるだけでなく、差別的な言葉が書かれた人々を長い間苦しめることにもなります。

県やJR、JR沿線の米原市をはじめとする市町等では、「滋賀県JR線人権啓発推進連絡会」をつくり、差別落書きへの対応とともに、差別落書きをなくすための啓発活動を行っています。何よりも大切なことは一人ひとりが人権意識を高め、差別を許さない社会をつくっていくことです。

一人ひとりの意識と

行動こそが重要

結婚や就職にまつわる身元調査や、差別落書き等の行為は決して許されることはありません。

しかし、これらの行為を規制したり、非難したりするだけでは、問題の根本的な解決にはなりません。

誤った偏見や、世間体を意識する人々の心のあり方こそが問題なのであり、あらゆる差別事象は差別意識が形を変えて具現化したものに過ぎません。

同和問題の解決に向け、求められていることは、過去の歴史や差別の実態に深く学び、お互いの人権が擁護される住み良い社会の実現のためには何が必要なのかを一人ひとりが考え、行動していくことです。

米原市では、すべての市民の人権意識の高揚ならびに人権擁護に努めることにより、社会に現存するさまざまな差別の解消を図るとともに、お互いの人権が尊重された住み良いまちの実現を目指す「米原市人権尊重のまちづくり条例」の制定を進めています。

本条例(案)は、9月に開会される市議会定例会に上程し、審議いただく予定です。

参考 2006年度滋賀県発行「いじめやわらかく」

テレビ番組のお知らせ

同和問題啓発強調月間にあわせて、息郷地域総合センター「三吉会館」で滋賀県人権施策推進課による人権啓発テレビ番組の収録が行われました。ぜひご覧ください。

放送局	びわ湖放送(株)
番組名	ふれあいTVスクエア
放送日時	9月3日(日)
	11時~11時30分
(再放送)	9月7日(木)
	21時~21時30分



ビンけん
 フェスタ
 しぎ
 2006

と き 9月10日(日) 10時~16時30分

と ころ 近江八幡市文化会館 ほか

内 容 講演 かがやきトーク
 松居一代さん(近江八幡出身・女優・IyEist)
 シンポジウム「人が輝くまちづくりをめざして」
 ふれあいコンサート
 白鳥英美子さん(トワ・エ・モア ボーカリスト)
 人権啓発ステージ(漫才・落語・コンサート他)など
 滋賀県人権施策推進課 ☎077-528-3533 eメール cf@pref.shiga.jp

講演・シンポジウム会場には、
手話通訳・要約筆記があります。

お問い合わせ 総務部 人権協働課(米原庁舎) ☎52 6629 52 4539

届け！非核平和の願い

「米原市平和祈念式典」で平和への誓いを新たに

8月5日、米原公民館大ホールで行われた『平成18年度米原市平和祈念式典』には、およそ400人の市民参加がありました。式典では、昨年6月に採択された「米原市非核・平和都市宣言」が、宣言文の英訳に携わった米原高校の3人の生徒により英語で朗読され、会場に訪れた一人ひとりが、平和への誓いを新たにしました。



平尾市長は、式典で『先の大戦から61年が経過し、戦争の悲惨さが風化しつつある今日、核兵器は、戦争を知る人にも知らない人にも共通する人類普遍の脅威。小さな力かもしれないが、この米原からも核廃絶を訴えていきたい。』と語りました。

大使館に届けられた市民の皆さんの願い



市民の協力により、英訳された『非核・平和都市宣言文』と各国の言葉に訳された『平和のメッセージ』は、8月8日、市民から寄せられた946人分の署名とともに、核兵器を保有するアメリカ、イギリス、フランス、中国、ロシアの大使館に届けられました。

より効率的で効果的な施設運営をめざして
10月から新たに4施設で
「指定管理者制度」を導入

本年6月の市議会での決定を受け、10月1日から次の施設で指定管理者による管理運営をスタートします。

施設名称（所在地）	指定管理者
山東公民館（長岡）	特定非営利活動法人 カモンスポーツクラブ
市民体育館（長岡）	
山東グラウンド（西山）	タウンルッチ (市のまちづくり大学「ルッチ大学」の卒業生が結成した市民グループです。)
勤労青少年ホーム（志賀谷）	



山東公民館と市民体育館

年度の途中から指定管理者に管理運営をお願いすることになりましたが、今年度予定している各種事業等は、指定管理者が引き続き実地いたします。また、施設の開館時間や休館日はこれまでと変わりません。

指定管理者制度は、民間事業者の持つ発想や手法で施設の有効利用と管理経費の縮減を行い、利用される皆様へのサービス向上を目指した制度です。

今までどおり各施設をお気軽にご利用ください。

お問い合わせ 総務部 契約管理課（米原庁舎） ☎ 5 2 - 6 7 8 1 ☎ 5 2 - 4 4 4 7

秋の全国交通安全運動

9月21日(木)～9月30日(土)

滋賀の道 歩くえがおに 乗る笑顔

- ・シートベルト、チャイルドシートは必ず着用しましょう。
- ・速度超過、信号無視等しないよう交通ルールを守りましょう。
- ・飲酒運転、過労運転はやめましょう。
- ・子どもと高齢者の事故を防止しましょう。



9月 まいばら暦

まいばら豆まめ知識

近畿初の写真付き切手「伊吹山の花」



郵政公社近畿支社で、伊吹山の草花の写真付き切手（5000部）が作成され、7月中旬から山頂の臨時出張所（9月下旬まで取扱い）のほか、滋賀県東北部77の郵便局で販売されています。写真付き切手の販売は近畿初。初夏から秋にかけて見られる草花を中心に色鮮やかなイブキジャコウソウ、イブキフウロをはじめ、10種類の切手がつくられました。



1 金		16 土	米原発！一豊・千代・孫作 ゆかりの地時代まつり[近江公民館ほか]（～18日）
2 土		17 日	おはなし会 [山東図書館]（14時～）
3 日	おはなし会 [ジョイいぶき]（10時～） おはなし会 [山東図書館]（14時～）	18 月	敬老の日 日撫神社角力おどり・奉納角力[日撫神社（顔戸）]
4 月		19 火	心の教育相談[伊吹健康プラザ愛らんど]（9時～12時） 心配ごと総合相談[米原地域福祉センター]（10時～12時）
5 火	心の教育相談[ジョイいぶき]（9時～12時） 心配ごと総合相談[近江やすらぎハウス]（10時～12時）	20 水	書道教室[ジョイいぶき]（10時～12時） 心の教育相談[近江公民館]（9時～12時） 心の教育相談[旧米原小学校（米原）]（14時～17時）
6 水	子育てふれあいサロン[ジョイいぶき]（9時30分～11時15分） 心の教育相談[近江公民館]（9時～12時） 心の教育相談[旧米原小学校（米原）]（14時～17時）	21 木	心の教育相談[勤労青少年ホーム（志賀谷）]（9時～12時） おはなし会 [近江図書館]（11時～）
7 木	心の教育相談[勤労青少年ホーム（志賀谷）]（9時～12時）	22 金	
8 金		23 土	
9 土	FAMILY アコースティックコンサート ～みんなのうた～[ルッチプラザ]（14時～）	24 日	
10 日	市防災訓練[蓮原農村公園（筑摩）]（8時30分～11時） 伊吹の味伝承講座[ジョイいぶき]（10時～）	25 月	
11 月	山津照神社奉納角力[山津照神社（能登瀬）]	26 火	心配ごと総合相談[伊吹健康プラザ愛らんど]（10時～12時）
12 火	心配ごと総合相談[三島荘（池下）]（10時～12時）	27 水	心の教育相談[近江公民館]（9時～12時）
13 水	心の教育相談[近江公民館]（9時～12時） 心の教育相談[旧米原小学校（米原）]（14時～17時）	28 木	心の教育相談[勤労青少年ホーム（志賀谷）]（9時～12時） 心の教育相談[近江公民館]（14時～17時） 結婚相談[米原公民館]（13時30分～16時） おはなし会 [米原公民館]（10時～）
14 木	心の教育相談[勤労青少年ホーム（志賀谷）]（9時～12時） 心の教育相談[近江公民館]（14時～17時） 結婚相談[米原公民館]（13時30分～16時） 親子でフィットネス [ジョイいぶき]（10時～）	29 金	
15 金		30 土	

10月のおもな行事

7日 上平寺戦国浪漫の夕べ
7日 2006国際花市場（～11月5日）
7日 米原曳山まつり（～9日）

7日 新幹線高速試験車両一般公開（～8日）
8日 大野木豊年太鼓踊
9日 朝日豊年太鼓踊
21日 戦国ロケット「流星」打ち上げ
22日 2006鴨の里ふれあいマラソン

今月の新刊図書

掲載の新刊図書は、市内のすべての図書館（室）で借りることができます。

図書館の休館日
…毎週月曜日と第4木曜日

山東図書館 ☎55-4554
近江図書館 ☎52-5246



『祝！中古良品』
赤瀬川原平 / 著
KKベストセラーズ

人間の体は新品ではあり得ない。必ず中古品である。しかし、新品よりは滑らかに動き、豊富な知識と経験が詰まっている、「老人力」の生みの親が書き下ろすアカセガワ版養生訓。中古人生に味わいあり！！



『名ソムリエの、おうちワイン』
柳 忠之 / 著 朝日新聞社

ソムリエさんのお気に入り、味も値段も満足できるあのワイン。夕飯のおともにリフレッシュに、あるいはお友だちと…。家での時間を豊かにしてくれる57本のワインを紹介。お店リストと、逆引き銘柄索引もついています。



離乳食教室

* 離乳食中期の内容を中心に栄養士による相談を行います。
* 3日前までに健康づくり課へお申し込みください。

実施日	受付時間	会場	持ちもの
10月4日(水)	9:50～10:00	伊吹保健センター	・母子健康手帳 ・赤ちゃん手帳 ・お皿とスプーン(お子さんが日常的に使っているもの)



子育てサロン

* 市全域が対象です。プレイルームを開放します。

広場	実施日	受付時間	場所	対象
赤ちゃん広場	10月4日(水)	9:30～12:00	伊吹保健センター	おもに1歳未満のお子さんとその保護者
	10月27日(金)		近江保健センター	
ちびっ子広場	10月11日(水)	9:30～12:00	伊吹保健センター	子育て中のお子さんとその保護者
	10月18日(水)			
	10月25日(水)			



予防接種

* 予防接種を受ける前には冊子「予防接種と子どもの健康」を読んで、必要性や副反応についてよく理解したうえで接種してください。

【BCG】月1回、集団接種を米原げんきステーションで実施します。(予約不要)

種類	実施日	受付時間	場所	対象	持ちもの・その他
BCG	10月6日(金)	13:00～13:15	米原げんきステーション	3ヵ月～6ヵ月未満児	予診票(赤ちゃん手帳内)に記入のうえ、母子健康手帳、体温計とともにご持参ください。
ポリオ(秋期)	10月16日(月)	13:30～14:20		3ヵ月～7歳6ヵ月未満児でまだ2回接種を受けていない児(1回目と2回目の間は、6週間以上あけてください。)	
	10月20日(金)				



歯に関すること

母と子の強い歯をつくろう運動(主催:湖北歯科医師会)

1歳から6歳までのお子さんの誕生月に、歯科健診と歯科指導が母子ともに無料で受けられます。

歯科健診	実施日	受付時間・場所	持ちもの
1歳児歯科健診	10月5日(木)	14:00～15:30 湖北医師会館	・母子健康手帳 ・子どもの歯ブラシとコップ
2歳～6歳児歯科健診	誕生日を迎えた月に、湖北歯科医師会会員の歯科医院にお申し込みください。		

会場について

場所がわからないときは赤ちゃん手帳でご確認いただくか、健康づくり課までお気軽にお問い合わせください。

健康づくり課	山東庁舎内(長岡)	近江保健センター	近江庁舎に併設(顔戸)
山東健康福祉センター	ルッチプラザ内(長岡)	米原保健センター	米原診療所に併設(三吉)
伊吹保健センター	伊吹健康プラザ愛らんど内(春照)	米原げんきステーション	米原庁舎南隣(下多良)

健診などに関するお問い合わせ 健康福祉部 健康づくり課(山東庁舎) ☎55-8105 ☎55-8130

— 9月はがん征圧月間です — がんを防ぐための12か条

1. バランスのとれた栄養をとる
～いりどり豊かな食卓に～
2. 毎日変化のある食生活を
～ワンパターンではありませんか?～
3. 食べすぎをさげ、脂肪は控えめに
～おいしいものも適量に～
4. お酒はほどほどに
～健康的に楽しみましょう～
5. たばこは吸わないで
～特に新しく吸い始めない～
6. 食べ物から適量のビタミンと繊維質のものを多くとる
～緑黄色野菜をたっぷりと～
7. 塩辛いものは少なめに あまり熱いものは冷ましてから
～胃や食道をいたわって～
8. 焦げた部分はさける
～突然変異を引き起こします～
9. カビの生えたものに注意
～食べる前にチェックして～
10. 日光に当たり過ぎない
～太陽はいたずら者です～
11. 適度にスポーツをする
～いい汗、流しましょう～
12. 体を清潔に
～さわやかな気分で～



10月の健康カレンダー



母子健康手帳の交付・妊婦相談

母子健康手帳は、山東庁舎健康づくり課・山東健康福祉センター・伊吹保健センター・近江保健センター・米原保健センター・米原げんきステーションでお渡ししています。妊娠中の心配事やわからないことなどお気軽にご相談ください。

すくすくホットライン ☎55 8105 (内線164/受付8:30~17:15)

妊娠・出産・育児などに関するご相談、お問い合わせは、「すくすくホットライン」までお気軽にお電話ください。

両親学級 *市全域を対象に実施します。 *終了時間は16時頃の予定です。

実施日	受付時間	会場	持ちもの
10月1日(日)	13:50~14:00	山東健康福祉センター	・母子健康手帳 ・赤ちゃん手帳 ・筆記用具

子育ては家族ぐるみで 8月6日、「両親学級」がスタート

両親学級は、母子保健の大切さを母親だけでなく、父親や家族にも理解してもらい、家族ぐるみで子育てしてもらいたいと、本年度から市がはじめたものです。

母子健康手帳をもつ出産前の母親とそのパートナーが一緒になって、お腹の子どもが育つ体のメカニズムや、栄養、そして出産後の育児について学びました。

パートナーとして参加した男性は「初めて知ることばかりでびっくり。とても参考になり、自信をもって子育てができそうです。」と話していました。市では今後も定期的に両親学級を開催する予定です。



乳幼児健康診査

*いずれも市全域を対象に毎月1回実施します。

*4ヵ月児健診はBCG接種も実施します。

*赤ちゃん手帳の中の問診票(対象月)を子どもさんの様子をみながら記入してきてください。

健診名(対象のお子さん)	実施日	受付時間	健診会場	持ちもの
4ヵ月児健診 (平成18年5月生まれ)	10月6日(金)	13:30~14:00 (BCGは13:00~13:15)	米原げんき ステーション	・母子健康手帳 ・赤ちゃん手帳・バスタオル
10ヵ月児健診 (平成17年12月生まれ)	10月13日(金)	13:30~14:00	米原げんき ステーション	・母子健康手帳・子どもの歯ブラシ ・コップ・赤ちゃん手帳・バスタオル
1歳6ヵ月児健診 (平成17年2月生まれ)	10月17日(火)	13:00~14:00	山東健康福祉センター	・母子健康手帳 ・赤ちゃん手帳 ・子どもの歯ブラシ・コップ
2歳6ヵ月児歯科健診 (平成16年3月生まれ)	10月19日(木)	9:30~10:30		
3歳6ヵ月児健診 (平成15年3月生まれ)	10月12日(木)	13:00~14:00		

育児相談 *市全域を対象に実施します。

実施日	受付時間	会場	内容
10月18日(水)	10:00~11:30	伊吹保健センター	・子どもの成長・発達・食事など、育児についての相談をお受けします。身体計測も行います。 ・育児不安、ストレス等でお悩みの方もご相談ください。
10月20日(金)		近江保健センター	
10月27日(金)			



米原市内では未就園児家庭を対象に
さまざまな子育て支援活動を行っ
ています。子どもたちの健やかな成
長と、楽しい育児を応援しています。
みなさん、ぜひ遊びに来てください。

フレフレ 子育て



地域子育て支援センターだより

子育て支援センターあゆっこ

米原市立米原中保育園内
〒521-0016 米原市下多良146-1
☎52-1114 ㊟52-5131

子育て支援センター寺子屋

長岡保育園内 〒521-0242 米原市長岡1167-4
☎55-0061 ㊟55-8222
http://www.nagaokahoikuen.com

10月のめばえ活動 三島池に行こう！

実施日	雨天の場合	詳細
10月3日(火)	6日(金)に変更	集合場所 “グリーンパーク山東”内屋内ゲートポ ール場横の駐車場 時間 9:50~受付 10:00~12:30 活動時間 (11:20頃 お弁当タイム) 持ちもの お弁当、水筒、シート、お しぼり、ゴミ袋、着替え
10月10日(火)	13日(金)に変更	
雨天の場合は、中保育園であゆ っこ開放をします。 参加申込について 参加希望の方は、9月22日(金) までに子育て支援センターあゆっこ まで、お申込ください。 お弁当なしの参加も受け付けます。		

10月のめばえ活動 新聞紙遊びをしよう！

実施日	会場	時間
10月17日(火)	西番場公民館	10:00~11:30 (受付 9:50~)
10月20日(金)	上丹生公民館	
10月24日(火)	賀目山公民館	
10月27日(金)	磯公民館	

あゆっこ開放 毎週月・水・木曜日 10時~11時30分
気軽に遊びに来られるお部屋です。

園庭開放 月曜日~土曜日 10時~11時30分
園庭にある、遊具や砂場で遊びませんか？

育児電話相談 ☎52-1114

毎週月曜日 13時~16時30分

相談員が応じます。一人で悩まず、まず、だれかに話してみても...

10月の園開放 楽しい行事にいっしょに参加してね。

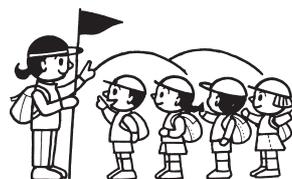
実施日	活動内容	時間
10月7日(土)	やりたい事、話したい事 ワイワイ ガヤガヤ 楽しく遊ぼう！	10:00 ~
10月28日(土)	暑い日は、水遊びをします。 水筒を持ってきてください。	11:30
10月11日(水)	みんなで遠足に出かけよう！ 場所 グリーンパーク山東・ 三島池周辺 集合 テニスコート脇駐車場 持ちもの お弁当・水筒 シート・おしぼり・ゴミ袋	10:00 ~ 13:00 9:50集合
雨天の場合 18日(水)	参加希望の方は、10月7日 (土)までにお申込みください。	

園庭開放 毎週月~土曜日 10時~11時30分
遊具がたくさんあります。おうちの人と遊びに来てね。

育児電話相談 ☎55-0061

毎週月~金曜日 10時~17時

ひとりで悩まないで！ 保育士が相談に応じます。



9月のおはなし会

いずれも予約不要、入場無料！お気軽にどうぞ。

とき	ところ
3日(日)午前10時~	伊吹薬草の里文化センター図書室
3日(日)午後2時~	山東図書館 おはなし室
17日(日)午後2時~	山東図書館 おはなし室
21日(木)午前11時~	近江図書館 おはなしのへや
28日(木)午前10時~	米原公民館図書室

図書館の休館日... 毎週月曜日と第4木曜日

山東図書館 ☎55-4554

近江図書館 ☎52-5246

抱っこして 読んで！



掲載の児童書は、市内のすべての図書館(室)で
借りることができます。



『まめうしとまめばあ』

あきやま ただし/作 PHP研究所

「まめつぶくらのちいさいこうし
「まめうしくん」のおばあちゃん「まめ
ばあ」は、いつもこわい顔。まめうし
くんは、まだい子どもまめばあの笑っ
た顔をもたことがありません。

9月は防災月間です

みんなで防災意識を高めましょう。

米原市防災訓練

皆さんの参加をお待ちしています

日時 9月10日(日)
8:30～11:00

場所はら
蓮原農村公園
グラウンド
(朝妻筑摩2483)

参加者 市民の皆さん、米原市、湖北地域消防本部、米原警察署、米原市区長会、米原市消防団、米原市赤十字奉仕団、米原市地域女性の会、日本アマチュア無線県本部、米原市自主防災組織など

内容 災害対策本部訓練、避難訓練(一部自治会のみ)、通信訓練(全自治会)、情報収集訓練、救出救護訓練、応急手当訓練、避難所開設訓練、給食・配食訓練、給水訓練、火災防御訓練(消防団による)、初期消火訓練、防災車両・防災関係用品の展示、煙体験、ビデオ放映など

お願い 駐車場には限りがあります。お近くの方は徒歩または自転車をご利用ください。またお車でお越しの方は、できる限り乗り合わせてお越しください。

市民部 防災安全課(近江庁舎) ☎52-6630 ☎52-6930

*小雨決行 中止の場合は防災行政無線放送でお知らせします。



青色パトロール車で安全パトロール実施中!

米原市では、8月から青色回転灯を装備した公用車4台でパトロール活動を実施しています。学校施設や通学路等をパトロールし、米原警察署との連携を密にし、不審者情報への対応など防犯に努めます。

パトロール場所: 学校周辺、通学路等

パトロール時間帯: 児童・生徒の下校時間

青色回転灯防犯パトロール車って?

これまでは道路運送車両法によって、自動車への回転灯の装備は、警察のパトカーや消防車両などの緊急車両や道路維持作業用の自動車以外認められていませんでしたが、地域住民等による自主防犯パトロール活動が、空き巣やひったくり、子どもを狙った犯罪の抑止につながるとされ、全国的な広がりを見せている中、警察庁と国土交通省はこのような警察以外の防犯パトロールの犯罪抑止効果を高めるため、防犯パトロール車へ青色回転灯を装備することを認めるようになりました。

地域の安全を守る! がんばる市民の防災・防犯・安全活動

米原市消防団、滋賀県操法訓練大会で健闘!

8月6日、東近江市の県消防学校で行われた「第41回滋賀県消防操法訓練大会」に米原市消防団を代表して近江中隊第2・第3分団と、米原中隊第4分団が出場しました。出場に備え、春から毎晩厳しい訓練が行われ、大会ではその訓練の成果が存分に発揮されました。

災害発生時には、迅速な消防・救急・救命活動が何よりも大切です。私たちの暮らしの安心・安全は、まさかの時に備えた消防団員のみなさんの日ごろからの訓練活動に支えられています。



指揮者の号令に従い、3本のホースをつなぎ、目標地点に的確に放水する技術やタイムを競う

犯罪のない安心なまちづくりに貢献 西堀 幸さん(志賀谷)に法務大臣から感謝状

子育てが終わり、「何か世の中のお役にたてることはないか」と更生保護婦人会の活動に参加された西堀幸さん。西堀さんの長年の活躍に対し、このたび、法務大臣から感謝状が贈られました。

20年以上もの間、犯罪や非行の防止にたずさわりの、非行少年の更生保護に尽力された西堀さんは、今もスクールガードボランティア活動で子どもたちの安全を見守るなど、子育て支援活動にがんばっておられます。



◀東京都で行われた「第43回日本更生保護女性の集い」に参加された西堀さん

「めざせ現役・1世紀」

認知症予防に取り組もう！

認知症は脳の病気

今、認知症対策が急がれています。

増えている認知症

認知症ってなに？

厚生労働省の65歳以上の認知症高齢者の推計によると、認知症高齢者は1990年に約100万人でしたが、2005年現在では189万人、2020年には290万人になる見込みです。65歳以上の人口に対する出現率も、2005年現在の7.6%から2020年には8.9%になると予想されており、65歳以上の人の9人に1人が認知症患者という深刻な状態です。高齢社会を迎え、認知症対策は国をあげての急務となっています。

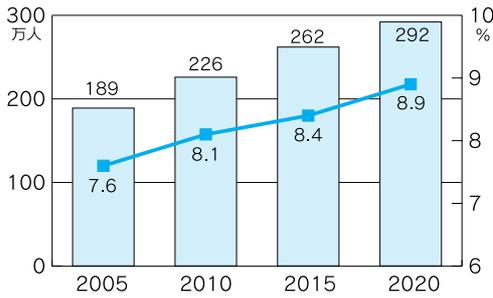


図1 認知症高齢者の将来推計

認知症は何らかの原因によって脳機能に障害が起こり、物忘れをはじめとした症状が表れる脳の病気です。

ふつうの物忘れとちがいで、出来事そのものを忘れてしまふのが特徴です。物忘れのほかにも、判断力が著しく低下したり、段取りが悪くなったり、同じものばかり買ってきたりするといった症状がみられます。

認知症の原因には大きく分けて次の3つがあり、近年では、特に「アルツハイマー型認知症」が増加しています。

認知症の原因

- アルツハイマー型認知症
- 脳血管性認知症
- その他（レビー小体認知症、混合型認知症等）

アルツハイマー型認知症は原因不明で治療が困難だと言われてきましたが、最近では早期に治療をはじめれば進行を遅らせることができるようになってきました。

「ひよっとしたら認知症？」と思つたらすぐに、神経内科や精神科などの認知症専門医を受診することが大切です。



シスター メアリのお話

原因を特定できないアルツハイマー型認知症は、これまで予防できない病だと考えられてきました。しかし、アメリカで実際に認知症を予防できた画期的な事例があったのです。

シスターメアリは1880年代にアメリカのフィラデルフィアで生まれ、19歳で教師となり85歳まで現役の教師として教育活動に尽力し、退職後も地域の福祉ボランティアに熱心に取り組み、101歳で天寿を全うされました。

死ぬ直前まで、正常な認知機能を維持したまま活動されていたと考えられます。ところが彼女の死後、脳を解剖してみると脳の萎縮が進み脳の重量も軽く、脳の表面にはアルツハイマー型特有のアミロイド斑が多数みられ、典型的なアルツハイマー型認知症の脳であることがわかりました。

つまり、シスターメアリは脳がアルツハイマー型認知症になっても、発症せずに自分らしい活動的な生活を営むことができていたといえます。

認知症を

予防するには：

なぜ、シスターメアリは認知症を発症しなかったのでしょうか？ シスターメアリの事例をきっかけに様々な研究が行われた結果、元気なうちから脳の機能を十分に高めておくことが、認知機能の低下予防に効果的であることがわかってきました。

毎日の暮らしの中で、次のような行為を意識的に行うことで、認知症になると低下しやすいといわれる「3つの機能（図2）」を鍛えることができます。



図2 認知症になると低下しやすい3つの機能

エピソード記憶

出来事や体験を記憶する機能

計画力

目標を決め、手順をうまく計画して実行する機能

注意分割力

注意を集中させたり、いろいろなことに注意を配ったりする機能

- できごとや体験を思い出し、日記に書いたり、人と話し合ったりする
- 複数の作業を並行して行う
- 新しいことに積極的に取り組む
- 料理や旅行など目標を決め、手順をうまく計画して実行する
- 集団で何かを話し合って決める など

認知症予防プログラムへのご参加を

市では高齢者がグループ活動を通して脳機能を活性化させることで認知症を予防する「認知症予防プログラム」を実施しています。

このプログラムでは、興味のある趣味活動（旅行、料理など）を6〜8人のグループで手順を話し合いながら行います。作ったことのない料理をみんなで考え実際に調理したり、参加者が行ってみたい場所への旅行計画をたて、実際に行動したりします。興味のある方は、ぜひ一度、地域包括支援センターまでお問い合わせください。

高齢者に関する総合相談窓口

地域包括支援センター
(山東庁舎 高齢福祉課内)
☎55 - 8103

本年4月に開設しました「地域包括支援センター」では、主に次のような業務を行っています。お気軽にご利用・ご相談ください。

- ・介護保険の利用についての相談や高齢者に関する心配ごとの相談など
- ・要支援認定者の介護予防ケアプランの作成など
- ・成年後見制度の活用促進や虐待の早期発見・防止
- ・地域のケアマネジャーの支援など

次回のシリーズ介護予防は「閉じこもりの予防」について12月1日号に掲載します。

参加者募集中

第13回 世界アルツハイマーデー 記念講演会 in 滋賀

参加無料

日時▶10月15日(日) 13時~15時30分

場所▶滋賀会館 大ホール(滋賀県庁前)

内容▶講演と介護体験者発表

- ・テーマ「在宅介護に看る家族という関係の困難と希望」
- ・講師 松山大学社会学部教授 春日キスヨ氏

定員▶500人 参加申込▶不要

問 社団法人「認知症のひと家族の会 滋賀県支部」
(滋賀県立長寿社会福祉センター内)

☎0120-294-473 または 077-567-4565 FAX 077-567-4565

(月・水・金曜日 10時~15時)

大漁で大喜び！楽しかった漁業体験

(7/21・22、30・31)



近江公民館主催の漁業体験（大敷網漁）が福井県美浜の丹生漁港で実施されました。募集定員をはるかに超える48人の応募があり、2回に分けての実施となりました。2回とも、天候に恵まれ、獲れた魚はカジキ鮪にハマチ、石鯛...と大漁。

午前3時30分に起床した子どもたちは、眠い目をこすりながら漁船に乗り込み、漁師さんと漁場へ向かいました。獲れた魚は漁師さんの指導のもと、各自が出刃包丁を手にして魚のさばき方を学びました。刺身や塩焼き、味噌汁に変身した獲れたての魚は格別の味。

子どもたちにとって忘れられない夏休みの思い出となりました。

梅花藻ライトアップコンサートに真依子さん

(7/30)

涼を呼ぶ地蔵川の梅花藻が人気で、連日多くの観光客が行き交う醒井では、7月30日まで夜間の梅花藻ライトアップが行われました。最終日には、宿場の風情を伝える問屋場を会場に米原市出身の真依子さんによるコンサートが催され、箏の音と川のせせらぎに耳を傾け、心を満たす夜となりました。



醒井水の宿駅が来館者60万人を達成！（7/27）

醒井の観光交流拠点施設として平成14年4月にオープンした「醒井水の宿駅」が、オープン以来、来館者60万人を数えました。記念すべき60万人目は粟東市在住のご夫婦。「近くにこのような美しい場所があると知り、驚いています」との感想でした。



『今、私たちができること』 女性の会が市長と懇談（8/3）

近江公民館で「米原市地域女性の会」による『市長と語る会』が開かれました。

『今、私たちができること』をテーマに進められた懇談では、会長の澤井明美さんが、設立から3ヵ月が経過し、具体的な活動に対する市長からのアドバイスがいただければとあいさつされました。

平尾市長は、『女性の会を立ち上げていただいたことに大きな期待を寄せています。合併によって同じ生活感をもった仲間も増え、組織づくりもしやすくなったということは大きな利点であり、力強い活動が生まれる可能性も秘めています。女性の会の皆さんのサポートにより、地域での社会貢献活動がより一層、活性化することを願っています。』と激励しました。

「あずさフィッシング」で 大人も子どもも大はしゃぎ（8/6）

梓区の自慢はなんといっても清流・梓川。川で遊ぶ子どもの姿をすっかり見ることがなくなった近年、地元の川に親しみ、地域住民の交流を深めようと始まった「あずさフィッシング」は今年で5回目を迎え、夏休みの恒例行事として区民の楽しみとなっています。

川には300匹あまりのマスが放たれ、竹でつくった昔なつかしいお手製の釣り竿でのマスつりや、魚つかみを楽しみました。釣った魚は早速、バーベキューに...！ 楽しいおいしい1日となりました。



キャンプファイヤーを囲み、 仲間と過ごした特別な夏休み

(8 / 5 ・ 6)



上丹生子ども会では、区内のふれあい広場を会場にわくわくキャンプが開催されました。1泊2日のキャンプでは、クラフト体験や飯ごう炊さん、キャンプファイヤーにカヌー体験など地域の自然と親しむプログラムが盛りだくさん。

上丹生区の子どもたちおよそ30人が集い、身近な自然を満喫し、交流を深めた2日間となりました。

魚がたくさんつかめたよ！ 天の川ふれあい川まつりが開催 (8 / 6)

市内を流れる天野川の一色橋周辺を会場に「天の川ふれあい川まつり」が開催されました。川まつりは、川に親しみ、自然の恵みに触れながら、地域住民の交流の機会となることを目的としたイベントで、魚つかみ大会や、川魚料理の振舞いなどが行われ、暑い中、多くの人でにぎわいました。

参加した子どもたちは「マス^{マスの}を20匹もつかんだよ」「うなぎはヌルヌルしてつかめなかった」「また魚つかみしてみたい」と楽しそうに話してくれました。



心地よい音色にうっとり・・・ 『旬彩の森』でよし笛コンサート(8 / 6)

伊吹の里「旬彩の森」では道の駅認定1周年を記念し、「よし笛コンサート」が開かれました。「米原よし笛の会」の皆さんによるヨシ笛の澄んだ音色に、会場に訪れた人々は終始うっとり^{みやひかい}と聞き入っていました。今回は「米原雅会」の皆さんの友情出演もあり、琴と尺八の演奏も行われました。

コンサートの他にも、店頭販売や道の駅記念切符の無料配布も行われ、道の駅の1周年を記念するにぎやかな1日となりました。

ハッコウトンボに会える場所、 山室湿原で湿原まつり (8 / 6)

山室の通称「みつくり谷」と呼ばれる谷間に位置する山室湿原で、湿原まつりが開催されました。さまざまな調査の結果、山室湿原ができたのは最終氷河期の末で、今からおよそ2万～2万5千年も前だと推定されています。太古の姿をそのままに今に伝えられてきた山室湿原では、夏、サギ草やミミカキグサなどの愛らしい花が見られます。

米原市の天然記念物に指定され、貴重な生態系を守ろうと山東西小学校や、「山室湿原を守る会」、「山室湿原を考える会」などの活動もさかん。人と自然との関わり方を教えてくれる米原市の宝物・・・私たちみんなの手で守っていききたいものです。



特定非営利活動法人 ひだまり

NPOのひろば

きめ細やかな介護・子育て支援サービスの提供を
〜我が家のような空間で〜
大きな大きな家族のように〜

ひだまりの思いと ひだまりのはじまり

私たち「ひだまり」は2002年5月に長浜で自宅を開放し、まずは宅児サービスを開始しました。

それと合わせて自分が生まれ育った場所で生活したいと願う高齢者の「思い」や「願い」を少しでも叶えられる場を作りたいと、宅児サービスの開始と同時に「宅老所」として活動の場を広げることができるよう、NPO法人格の取得や空き家の改修を行いました。

2003年6月15日、ついに空き家の改修工事も完成。米原市一色で「NPO法人 ひだまり」として、「我が家で暮らすように、子どもとお年寄りと一緒に過ごせる場所」を目

指し、家庭の気楽な雰囲気
延長線上であることを大切に
した、宅児・宅老サービスを
はじめたのです。

小さなスペースではあるけれど、子どももお年寄りも世代を越え、互いに生きる喜びを分かち合える場所となるよう、暖かいサービスを提供していきたいと思っています。

いつだって
ワイワイ・ガヤガヤ
にぎやかなひだまり一家

ひだまりの日常はワイワイ・ガヤガヤ、笑い声あり、泣き声あり、「ご飯を作る音と匂いあり」。

子どもたちはおじいちゃん、おばあちゃんと触れ合いながら、いろんなことを教えてもらいます。ついこの間まではお蚕さんのお世話に興味津々！ お年寄りからエサの与え方や触り方を教えてもら

いました。おじいちゃん、おばあちゃんはその子どもたちをあたたく見守り、泣いている子をあやしたり、やんちゃしている子を叱ったりと、たくさんの愛情を注いでくださっています。

一軒家の中に赤ちゃんからお年寄りまでが一緒にご飯を食べて、話をして、のんびりと一日を過ごす。ひだまりは大きな大きな「家族」のようにみんなでいっしょに素敵な毎日を送っています。

ひだまりが
これから目指すこと

ひだまりがスタートして丸3年。利用者やそのご家族、地域の皆さん、ボランティアの皆さん：たくさんの方々に支えていただけて、今のひだまりがあります。いつもありがとうの気持ちを忘れずに、今後もたくさんの人と共に、うれしいことも悩みごとも分かち合っていければと思っています。

だれもが気軽に立ち寄れる

て、お茶を飲みながら世間話ができる「なじみの場所」になれるよう、スタッフ一同頑張っていますので、今後ともどうぞよろしく願います。

ひだまりに 遊びにきてください

ひだまりでは、宅児・宅老サービスのほかに、「ひだまり夏祭り」など季節に合ったイベントを開催し、だれでも気軽に参加いただける地域開放日を設けています。

利用者の皆さんをはじめ、そのご家族、ご近所の方々やスタッフ、ボランティアの皆さんに、「ひだまり」をもっと身近に感じていただければ



NPOとは、民間非営利組織(団体)のことです。本来は、財団法人などの公益法人や社会福祉法人、さらには学校のPTAなどの任意団体も含む幅広い概念のものです。一般には市民活動を中心とした団体としてとらえられることが多く、目的達成に重点を置いた事業体であるといえます。現在、NPOには行政や企業とともにこれからの社会を支えるものとして大きな期待が寄せられています。



と思っています。
ぜひ皆さんもお気軽にお立ち寄りください。

特定非営利活動法人 ひだまり

NPO DATA File_002

事業内容

宅老

- ・デイサービス、延長サービス
- ・元気なお年寄りのご利用
- ・自主事業としてのお泊り

宅児

- ・月極め、一時預かり、お泊り保育
- ・障害を持つお子さんのショートステイ
- ・障害を持つお子さんの学童保育
- ・夏休みのひだまりほーむ(夏季預かり)
- ・親子サロン

スタッフ人数 20人
 活動の場所 米原市一色458-2
 問い合わせ ☎54-2277
 ☎54-2299
 URL「ひだまり」
http://www.geocities.jp/hidamari_maibara_issiki

2002年5月 長浜で宅児サービスを開始。
 2003年6月 「特定非営利活動法人ひだまり」として法人化。米原市一色の空き家を改修し、小規模ホームでの宅児・宅老サービスをスタート。

米原歴史街道

米原市の 歴史・文化財 を歩く

章齋文庫所蔵資料調査

写真展 地方史研究の魁

中川泉三の足跡

中川泉三は、明治二年（一八六九年）生まれの大野木出身の地方史研究者で、日本を代表する歴史家久米邦武や徳富蘇峰とも交流が深く、滋賀県内の歴史研究をはじめ、日本の



『近江坂田郡志』編纂記念写真(前列左から二人目が中川泉三)

地方史研究を切り拓いた一人として知られています。

昭和十四年に七〇歳で亡くなる直前、泉三を慕う遠近の有志により、大野木に建てられた書齋は、泉三が号を「章齋」と名乗っていたことから『章齋文庫』の名で親しまれ、現在も泉三が研究のために集めた資料や執筆した原稿、手紙などが収められています。

米原市（旧山東町）では、七年前から『章齋文庫』の所蔵資料調査（資料総数や種類の概要把握調査）を始め、今もなお調査が続いています。現在、執筆原稿や筆写資料、手紙など、およそ四万点にも上る資料の調査を終え、一万点を残すほどになりました。

そこで、九月十六日からこれまで行ってきた調査の成果を報告する機



新築当時の章齋文庫（昭和14年）

会として、前回の写真展「地方史研究の魁」の続編にあたる二回目の写真展「地方史研究の魁・中川泉三の足跡」を開催します。前回は泉三と関わりのあった人物を中心とした紹介でしたが、今回の写真展は『章齋文庫』所蔵の写真とともに、泉三ゆかりの地（滋賀県内）の現在の景観を中心とした百枚以上の写真を展示し、その功績を紹介いたします。

調査を進める中で、これまであまり知られていなかった意外な場所に泉三の足跡が残されていることがわかってきました。郡志などの地方史編纂に携わった地域だけにとどまらない泉三の研究の幅広さ・奥深さを感じていただければと思っております。この写真展を通じて中川泉三と

いう人物の新たな足跡を訪ね、郷土の歴史に触れてみませんか？
市民の皆さんのお越しをお待ちしております。
（文化スポーツ振興課）

章齋文庫所蔵資料調査
写真展 地方史研究の魁・
中川泉三の足跡

開催期間 9月16日(土)
～10月15日(日)
会場 ルッチプラザ

月曜休館
期間中、9月23日(土)と10月8日(日)には調査員による展示解説を行います。
(いずれも午後2時から)

市指定文化財

「円空作十一面観音像」の
拝観について



大平観音堂（春照）に安置されている「円空作十一面観音像」は、9

月1日から12月中旬まで、東京国立博物館に出展のため拝観することができません。ご了承ください。



第8回手話ふれあい フェスティバル

日時▶ 9月10日(日) 10時~15時
会場▶ 野洲コミュニティセンターきたの
内容▶ ステージ発表、模擬店、フリー
マーケット、ミニ手話教室 ほか
参加費▶ 一般300円 高校生以下無料
第8回手話ふれあいフェスティバル
実行委員会 ☎ 077-561-6111
FAX 077-565-6101

新築住宅をお考えの方に 南川住宅団地を分譲中

ゆったりした敷地、広い道路。
あなたの新生活を自然環境に恵ま
れた南川住宅団地で！ 全70区
画のうち40区画を米原市で分譲
しています。

分譲地の一例 (米原市杉沢・村木)

- (10号地) 331.15㎡ 816万2千円
- (26号地) 261.68㎡ 730万9千円
- (46号地) 358.40㎡ 1,030万5千円

市 総合政策課(米原庁舎) また
は最寄りの庁舎 自治振興課まで
☎ 52-6626 FAX 52-5195

香瑠鼓[KAORUKO] トークショー&ダンスレッスン

「YOSAKOIソーラン祭公式テ
ーマソング」や慎吾ママのおはロク
クなどの振付で知られる振付界魁一
のヒットメーカー香瑠鼓が『よさこ
い』を熱く語る...!



日時▶ 9月23日(土) 14時~
場所▶ 浅井文化ホール
前売券▶ 一般1,500円、中学生以下
800円
(当日は500円増)
浅井文化スポーツ事業団
☎ 74-3355 FAX 74-3356

米原市少年センターでは、学
校をやむなく中途退学した少
年たちの就学や就労、進路変
更の相談に応じています。

少年に関する悩み事は・・・
米原市少年センターへどうぞ
☎ 54-5000

相談



心配ごと総合相談

人権・行政・心配ごと等、市民の
みなさんのあらゆる相談に応じます。
相談は無料で、秘密は厳守されます。
時間はいずれも午前10時から正午ま
で。

相談日	会場
9月12日(火)	三島荘(池下)
9月19日(火)	ゆめホール(三吉)
9月26日(火)	愛らんど(春照)
10月3日(火)	やすらぎハウス(顔戸)

社会福祉協議会 本所
☎ 54-3105 FAX 54-3106

結婚相談

米原市では、結婚相談所を「毎月第
2・第4木曜日」に開設しています。
お気軽にご相談ください。相談は無料
です。

日時▶ 9月14日(木)・28日(木)
13時30分~16時

場所▶ 米原公民館
市 農村振興課(伊吹庁舎)
☎ 58-2228 FAX 58-1719

「米原市芸術展覧会」出展作品を募集します!

絵画・彫刻・工芸・書・写真部門

搬入日時: 11月10日(金) 9:30~20:00
11月11日(土) 9:30~17:00

搬入先: 山東公民館

作詞作曲部門

応募締切: 9月8日(金)

応募先: 文化スポーツ振興課

いずれの作品も未発表のものに限ります。

【出品資格】 高校生以上(ただし、作詞作曲部門に関し
ては小学生以上が出品可能です)

【出品料】 1点につき500円

【審査】 11月12日(日) 展示会場にて行います。
(作詞作曲部門については11月26日(日)
に行います。)

米原市芸術展覧会審査員(敬称略・順不同)

《絵画》 芝田 耕・鈴木 睦美・林 容子
 《彫刻・工芸》 土田 隆生
 《書》 上野 浩一
 《写真》 井上 隆雄
 《作詞作曲》 野々垣 恵信・日向 宣広

【要項・申込書配布場所】

各公民館・各庁舎・ルッチプラザ・ジョイいぶき
山東B&G海洋センター 他

お問い合わせ 教育委員会 文化スポーツ振興課(山東庁舎) ☎ 55-8106 FAX 55-4040



お知らせ

9月の窓口業務・事務延長のご案内

実施日▶ 9月14日(木)・28日(木)
19時まで延長

実施窓口▶ 市役所各庁舎窓口
毎月第2・第4木曜日(祝日の場合は前日の水曜日)に延長窓口を開設しています。

《取り扱い業務》

- ・住民票・印鑑証明・戸籍証明の発行
- ・印鑑登録申請
- ・税に関する証明書の発行
- ・税金の納付
- ・125cc以下のバイクの登録
- ・米原市ナンバー(旧町ナンバー含む)の廃車申告
- ・臨時運行許可業務

市 市民窓口課

☎ 52 - 6927 FAX 52 - 4539

「はかり」の定期検査についてお知らせ

計量法に基づき、商店や工場、薬局等で取引や証明用として使用する「はかり」は、定期的(2年に1回)に精度を確認することが義務付けられています。該当する「はかり」を使用される方は受検してください。

実施日	時間	場所
9/11 (月)	11:00~ 14:00	伊吹山麓 青少年総合体育館
9/12 (火)	10:30~ 12:00	市役所山東庁舎
9/12 (火)	13:30~ 15:00	山東B&G 海洋センター
9/14 (木)	10:30~ 12:00	市役所近江庁舎
9/15 (金)	10:30~ 12:00	米原保健センター
9/15 (金)	13:30~ 15:00	市役所米原庁舎

検査実施機関▶ 指定定期検査機関
(社)滋賀県計量協会

持ちもの▶ 受検はがき(特定計量器
定期検査受検票) 手数料
市 商工観光課(伊吹庁舎)
☎ 58 - 2227 FAX 58 - 1197



講座

男性教育セミナー「出逢いのチャンスをつかむ秘訣」

開催日時▶ 9月29日(金)
18時~21時15分
開催場所▶ 湖北農業会館3階大ホール
(長浜市公園町)

対象▶ 湖北管内の未婚男性
定員▶ 湖北地域の方100人程度
(定員になり次第締切)

参加負担金▶ 1人1,000円
主催▶ 湖北地区結婚相談連絡会・
湖北地域農業センター
湖北地域農業センター
☎ 62 - 4143 FAX 62 - 4144
市 農村振興課(伊吹庁舎)
☎ 58 - 2228 FAX 58 - 1719

第2回福祉のまちづくり講座

日時▶ 9月22日(金) 18時30分~
会場▶ 長浜勤労者総合福祉センター
「臨湖」
講師▶ 神奈川県立保健福祉大学教授
医学博士 杉山みち子氏
内容▶ 講演「食べることを大切に~
活力ある85歳をめざして~」
受講料▶ 無料
・ 長浜米原東浅井介護認定審査室
☎ 65 - 1145 FAX 68 - 0263

10月~12月の 「リサイクルガラス講座」 ~10月6日開講~

パーナーワーク講座
受講定員▶ 4コース各10人
受講料▶ 25,000円
吹きガラス講座
受講定員▶ 4コース各4人
受講料▶ 30,000円

とも対象は18才以上。湖北広
域行政事務センター管外に居住の
方は受講料が1割増しとなります。
1コースは全10回で各コースの受
講日時はお問い合わせください。

募集締切▶ 10月5日(木)
・ 湖北広域行政事務センター
クリスタルプラザ ガラス工房館
☎ 62 - 7146または7143
FAX 65 - 0245



募集

「介護保険運営協議会委員」 を募集

市では、市長の諮問に応じて介護
保険事業等に必要な事項を審議する
「介護保険運営協議会」を設置してい
ます。この協議会に委員として参加
いただける方を募集します。

活動内容▶ 年3回程度の会議への出
席、介護保険事業の推進等に関する
意見、提言等
募集人数▶ 4人

任期▶ 平成21年3月末日まで
資格▶ 米原市在住の人
締切▶ 9月8日(金)
申込方法▶ はがき、FAX、Eメー
ルのいずれかで「介護保険運営協議
会委員に応募」と記入の上、住所・
氏名・連絡先を明記して下記まで。
・ 市 高齢福祉課(山東庁舎)
☎ 55 - 8103 FAX 55 - 8130
Eメール kourefukushi@city.maibara.shiga.jp



催し

ケアセンターいぶき敬老祭

日時▶ 9月18日(月・祝)10時30分~
場所▶ 地域包括ケアセンターいぶき2階
内容▶ コーラス、ゲーム、仮装劇など
地域包括ケアセンターいぶき
☎ 58 - 1222 FAX 58 - 8036

出張理美容サービス(NPO法人)

日本理美容福祉協会 滋賀米原センター
ご自身で理、美容室に行く事が困難な高齢者の方々
への出張理美容サービス

在宅カット2500円
(パーマ、カラーもさせていただきます)

米原市藤川1351 Tel.Fax 0749-58-1566



シロアリ駆除処理 床下換気システム オオミ・クリーン消毒

古川喜代造

〒521-0013滋賀県米原市梅ヶ原1410-1
TEL 0749-52-0333
携帯電話 090-397-44793

まいばらら 9/1
2006.

秋の米原市を家族や友達といっしょに走ろうよ

開催日

雨天決行
10月22日(日)

2006

ふれあい 鴨の里 マラソン

参加受付中

9月25日(月)まで

問 文化スポーツ振興課
☎55-8106



近江はにわ館 第103回企画展

金谷陽子 ガラス展

～やわらかなガラス～

9月5日(火)

9月27日(水)

問 近江はにわ館
☎52-5246

※月曜日休館(祝日の場合は翌火曜日)

吉本お笑いライブ in ジョイいぶき

10月14日(土)

14時開演

料金 前売 1,500円
当日 2,000円
友の会 10%OFF

問 ジョイいぶき
☎58-0105

大木こだま・ひびき ほか ※月曜日休館(祝日の場合は翌火曜日)

ハッ★チーズ

スルスク育ててね!



こくと
田邊刻人ちゃん
[4才9か月]

あん
杏ちゃん
[1才4か月]

入江のおともだち

醒井水の宿駅



宮川邦雄 新作写真展 「写真+和紙—滋賀の風景—」
9月10日(日)まで開催中
問 醒井水の宿駅 ☎54-8222

澤田弘行写真展 「近江のトンボと山野草」
9月13日(水)
10月3日(火)

企画展 一豊を支えた妻 千代

12月28日(木)まで 問 近江母の郷文化センター
☎52-5177

元氣なまいばらっ子の写真を募集中です。掲載をご希望の方は、情報政策課☎52-6627まで。

環境保護のため再生紙100%を使用しています。
大豆油インキで印刷しています。

この市政情報誌「まいばら」は13,300部作成し、1部あたりの単価は25円(1円未満切り捨て)です。※職員の人件費は含まれていません。

編集・発行/米原市役所 政策推進部 情報政策課
〒521-8501 滋賀県米原市下多良3丁目6番地
☎0749(52)6627/FAX 0749(52)5195
Eメール jounhou@city.maibara.shiga.jp
公社ホームページ http://www.city.maibara.shiga.jp

発行日 平成18年8月25日